

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP <https://isawachu.edumap.jp>〉

胆沢プライド継承会



今年度も、3年生への感謝を伝え、3年生の思いや伝統を受け継ぐことを目的に、生徒会主催の継承会を開催しました。会では下級生からは、組団ごとに応援、ダンス、合唱と異なった発表が行われました。3年生からは総合パフォーマンス発表が行われ、大いに盛り上がりました。先輩から後輩へのバトンの引継ぎがしっかりと行われたと感じています。

プライドFINAL



冬季合同トレーニングの成果を実感し、披露しあう取組を行いました。方法は部活動対抗の20Mシャトルラン（団体戦・個人戦）です。体育館で真剣に走る姿、応援する姿がありました。今後の活動に反映させてほしいと思います。

学校運営協議会

2月27日に今年度2回目の会議を開催しました。学校からの報告を踏まえ、委員の皆様からたくさんの感想や意見をいただきました。来年度の胆沢中の取組に活かしてまいります。

話題となった主な事柄

- ・中学生の将来の夢や憧れと進路学習について
- ・校外学習や体験学習の位置づけについて
- ・集団生活と個別対応のあり方について
- ・中学1年生への支援のあり方について

追悼の会

東日本大震災から13年となりました。胆沢中では、復興学習の一環として、この時期に追悼集会を開いています。今年度は、各学年代表生徒による作文発表とDVD視聴を内容として行いました。子どもたちには、震災の教訓を忘れないこと、岩手の復興と発展を支える一員に育ってほしいことを改めて感じています。

必要な受診を計画的に

まもなく春休みを迎えます。検診結果や身体状況で気になること、心配なことがある場合は、計画的な受診をお願いします。健康に関する事柄は、正確な情報や正しい判断について、専門的な見地から指導や助言を受けることが大切です。健康相談や保健指導を受ける場合も同様です。新年度がスタートする4月の前に解決できることは取り組めるようお願いいたします。

卒業にあたって

2学期から3学期にかけて、3年生各学級で、道徳の時間に、私から伝えた内容です。

- A組 「人生や命の大切さ、生きること」
- B組 「区切りの大切さ、生きること」
- C組 「学ぶことの目的や意味、向上心」
- D組 「対人関係のあり方、信頼」

各学級では、資料に関してたくさんの意見がありました。どの項目も大切な事柄です。中学校時代に感じたこと、覚えたこと、身につけたことは一生の宝物です。同級生と過ごした時間を思い出とし、大切にしつつ、新生活の支えにしてほしいと思います。

こども調査⑧「将来」

あなた（10～14歳）が大人になった時、どのようななっていると思いますか

	積極肯定の割合
お金持ちになっている	12. 1%
自由にのんびり暮らしている	38. 0%
世界で活躍している	8. 9%
多くの人に役に立っている	21. 8%
有名になっている	9. 7%
子どもを育てている	28. 4%
親を大切にしている	58. 2%
幸せになっている	55. 4%
結婚している	30. 7%
出世している	23. 5%
仲間と仲良く暮らしている	46. 4%

結果を見ると、将来へのイメージは、全体的に肯定的な感じがします。中学生には、今を出発点に捉えて、遠い将来と近い将来に分けて自分の姿を想像してほしいと思います。そして、そのことを口に出したり、何かに書いてほしいと思います。

今はわからないことだと感じていても、行動を通じて具体的な事柄が見えてくるものです。将来を想像することは、折に触れて取り組んでみてほしいことです。